



# Japan Business School Case Competition 2021

## 課題ケース概要

2021/10/17

JBCC2021実行委員会/ケース班

## 「調和組織構造」という新技術を有する 大会初のベンチャー企業「Harmonic Power」が舞台

### 1.会社概要

設立 : 2020年8月1日

売上高 : 約1,852万円 (営業利益 ▲1,008万円)

設立者 : CEO 長谷川 佑里、CTO 田中 圭佑

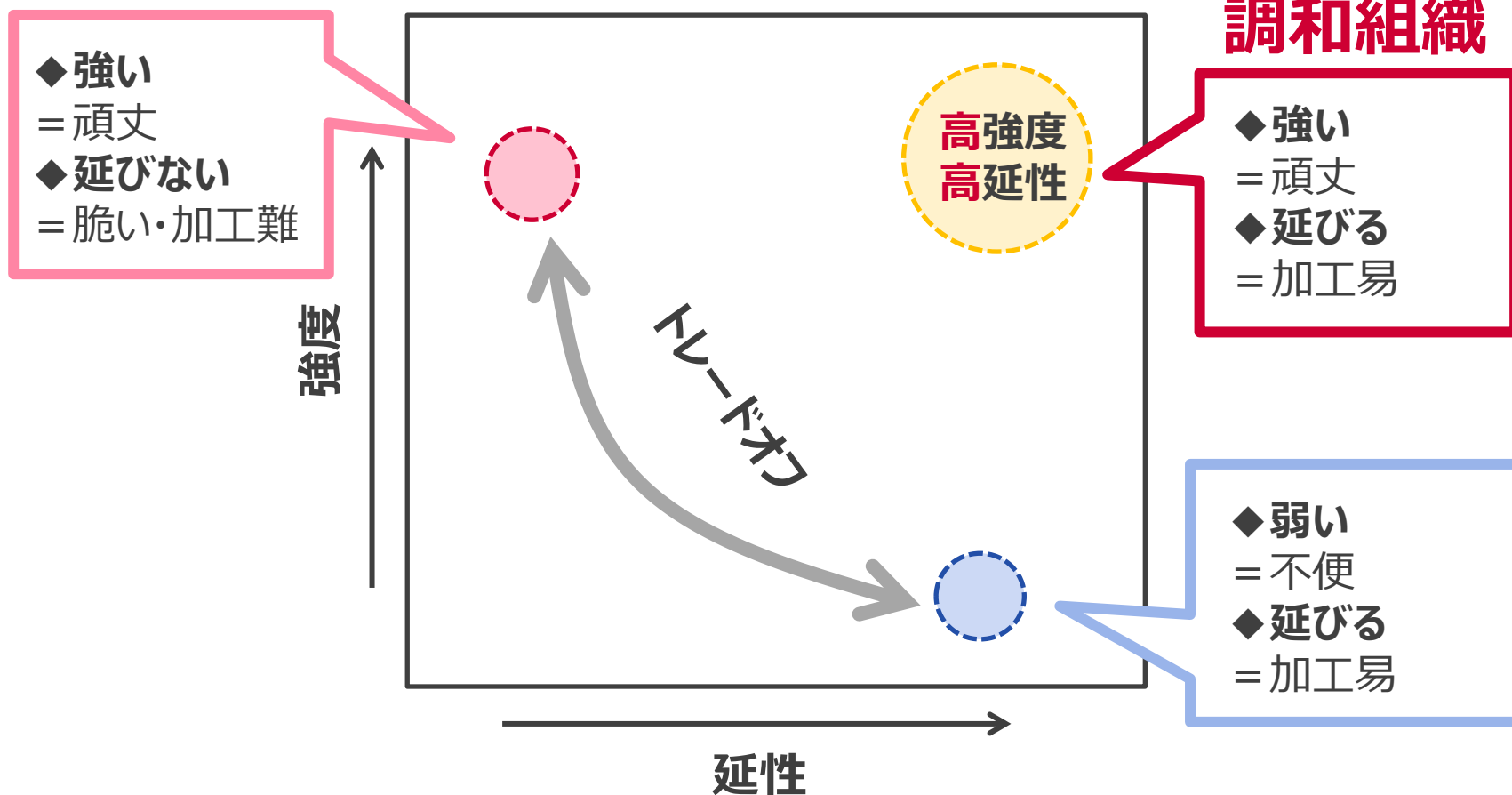
事業内容 : 「調和組織構造」を活用し、強化処理を施した金属粉末の  
開発・製造・販売

資本金 : 900万円

株主構成 : CEO 5,000株 (56%)、CTO 4,000株 (44%)

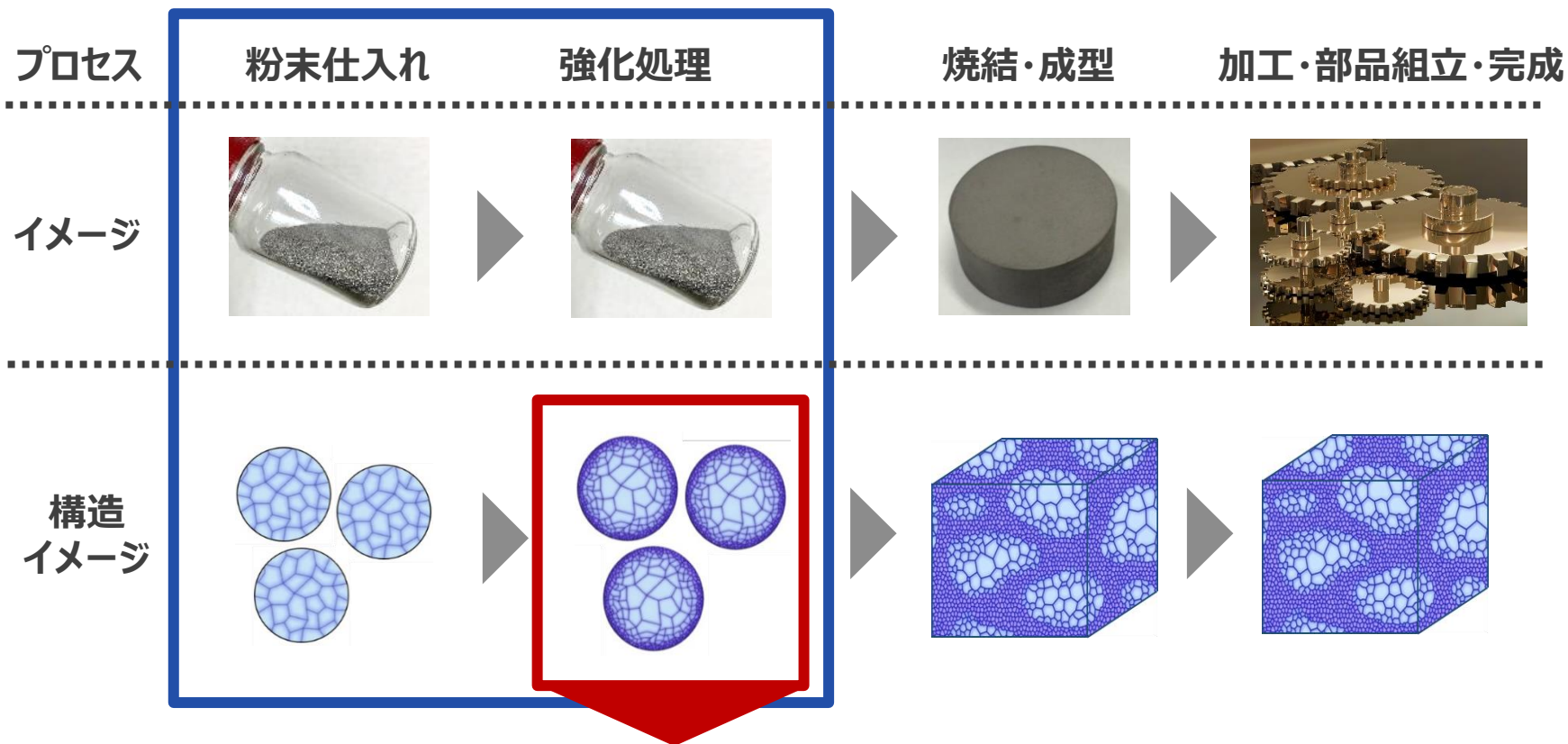
借入金 : 1,200万円

調和組織技術を用いて強化処理を施した金属粉末は  
「強度」と「延性」が共に向上する



強化処理を施しても元となる金属の物性を維持し  
かつ幅広い金属や合金に展開が可能

## 現状の自社の事業範囲



元となる金属の物性（軽量性や耐食性など）を維持

### 大手素材メーカー営業職出身、MBAホルダーの長谷川と 大学教授の田中が経営の舵を取る

CEO : 長谷川 佑里 **主人公**

- 1986年生まれ、35歳
- 浪速大学・大学院卒業、**田中の研究室出身**
- 大学院卒業後は大手素材メーカーの営業職に従事
- 業務のかたわら**MBAを取得**
- 2018年から副業として起業準備に携わる
- 2020年大手素材メーカーを退職し、Harmonic Powerを設立

CTO : 田中 圭佑 **ビジネスパートナー**

- 1971年生まれ、50歳
- 浪速大学教授
- 2008年に、研究過程で偶然**「調和組織構造」を発見、製造方法を確立**
- 本技術で**「社会に新たな価値を提供したい」**という強い思いを持っている
- 大学に籍を置きながら経営に携わる

限られたリソースの中、多様な選択肢の中から事業戦略を描き  
必要となるステークホルダーの協力を得ることができるか？

#### 1. すそ野が広い金属産業

- 素材の種類、加工方法、用途などは多岐に渡る
- バリューチェーン上のどこを押さえるか、**事業戦略の選択肢は多様に存在**

#### 2. 限られたリソースの中での事業戦略

- 2021年6月に300万円を借り入れたものの資金・人材等、**リソース不足**
- 創業以来、赤字が続いている
- **現在の事業のまま拡大するか？**
- スポーツ用品メーカーのBellwoodからの提携提案は？
- 描いた事業戦略は、**ステークホルダーの支持を得られるか？**

**創業間もないベンチャー企業の進むべき方向性を検討し  
自社成長に必要となるステークホルダーを自ら決め、戦略を説明**

## 1. 課題ケースの設定上の時期

- 会社設立から1年が経った2021年8月
- ただし、外部環境の影響については、解答作成時点の情報を活用可能

## 2. プレゼンの内容

- 短期戦略と5カ年の中期戦略、必要に応じて10カ年の長期戦略を策定
- 戦略に応じて**プレゼン対象となるステークホルダーを参加者が決め**、説明する
- 発表時間は14分、質疑応答は15分

出場 2 1 5 チームの  
頂点に立つのはどのチームか？

グランドファイナル出場各チームの  
健闘をお祈りいたします！